

2020 年度

— 2020. 2. 19 —

社会学研究科入学試験問題(後期博士課程)

科目「英語」(辞書使用可)

4問中、志望専攻の問題1問を含め、2問を選択し、問題ごとに別々の答案用紙に解答のこと。

出題専攻は、各問題の頭の部分に「問題○(○○○専攻)」の形で示されている。答案には選択

した問題について「問題○(○○○専攻)」と明記して解答しなさい。

科目 「英語」(辞書使用可)

### 問題Ⅰ（社会学専攻）

以下の英文を全て日本語に訳しなさい。

出典： Van Oudenhoven, J. P., & Buunk, A. P. (2017). Social psychology and immigration: relations between immigrations and host societies. (Steg, L. Keizer, K. Buunk, A.P. (Eds.). (2017). *Applied Social Psychology: Understanding and Managing Social Problems*. Chapter 11) Cambridge University Press.

2020年度

社会学研究科入学試験問題（後期博士課程）

—2020.2.19—

科目 「英語」(辞書使用可)

問題Ⅱ（社会学専攻）

以下の英文を読み、その概要を400字程度の日本語で論理展開がわかるようにまとめなさい。

出典: Janet Carsten 2011 "Substance and Relationality: Blood in Contexts", *Annual Review of Anthropology*, Vol.40

2020年度

社会学研究科入学試験問題（後期博士課程）

—2020. 2. 19—

科目 「英語」(辞書使用可)

問題Ⅲ（心理学専攻）

以下の英文を、すべて、わかりやすい日本語に訳しなさい。

出典：Luce, R.D., & Krumhansl, C.L. (1988). Measurement, scaling, and psychophysics. In R.C. Atkinson, R.J.Herrnstein, G.Lindzey, & R.D.Luce (Eds.), Stevens 'handbook of experimental psychology (2nd ed., pp. 3-74). New York: Wiley.

科目 「英語」(辞書使用可)

## 問題IV（教育学専攻）

以下の英文は Ryoji Matsuoka の "School Socioeconomic Context and Teacher Job Satisfaction in Japanese Compulsory Education." と題する論文\*の抄録である。これについて以下の3問に答えなさい。

問1 この抄録のエッセンスを日本語で200字以内に要約しなさい。

問2 ここで扱われているテーマと著者の見解について、この問題に関心を寄せられる一般の日本人に対して、あなたの学術的専門性からどのようなことがいえるか、日本語で論じなさい。

問3 ここで扱われているテーマと著者の見解について、あなたの関連する(あるいは将来関連することになると想定される)国際学会で、あなたの学術的専門性からどのようなことがいえるか、英語で論じなさい。

\* *Educational Studies in Japan: International Yearbook No. 9*, March, 2015. pp. 41-54.